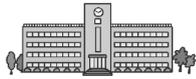


スクール便り



総合学科環境緑地系列における専門教育と人材育成

—鹿児島県立鶴翔高等学校 総合学科環境緑地系列—

1. 学校紹介

本校は鹿児島県北西部に位置する阿久根市にあり、平成17年に阿久根高等学校、阿久根農業高等学校、長島高等学校の3校が統合され新設された12年目の学校である。設置学科は、総合学科2クラス、農業科学科1クラス、食品技術科1クラスの学年4学級、全校12学級の構成である。総合学科では2年生からアカデミア系列（普通科）、情報・ビジネス系列（商業科）、スポーツ健康科学系列（体育科）、環境緑地系列（農業土木科）に分かれ、それぞれ専門性の高い学習活動を展開している。環境緑地系列は阿久根農業高校環境土木科の流れを汲み、農業土木や測量を中心とした学習活動を行っている。現在2年生14名、3年生13名が在籍している。

2. 教育目標および専門科目

(1) **教育目標** 「地域に根ざし、キラキラ輝く鶴翔高校」をキャッチフレーズとし、地域連携を深め、地域から信頼され選ばれる学校づくりを進める。また、スクールモットーとして「挑戦・感動 そして愛」を信条に、さまざまな行事や活動に積極的に取り組む姿勢を養い、社会の発展に貢献できる心豊かな人材育成に努めている。

(2) 履修している専門科目

2年次（14単位）

農業と環境（3）、総合実習（3）、
農業土木設計（2）、農業土木施工（2）、
水循環（2）、測量（2）

3年次（13単位）

課題研究（2）、総合実習（3）、
農業土木設計（2）、農業土木施工（2）、
造園計画（2）、測量（2）

合計27単位

3. 進路指導

本校では基礎学力の定着や資格取得を目標に、毎朝40分間の朝補習を実施している。その成果として、四年制国公立大学や専門学校などへの進学、県内外企業への就職など100%の進路実現を果たしている。



写真-1 鹿児島県立鶴翔高等学校

4. 諸活動

(1) **インターンシップ** 2年生では地元の建設・土木関連企業において、5日間のインターンシップを行っている。専門科目の学習をより深め、学習意欲を高めるとともに、望ましい職業観を身につけ、進路に対する意識付けを行うことを目標として実施している。

(2) **現場見学会** 鹿児島県北薩地域振興局農村整備課の協力をいただき、防災ダム、利水ダム、ファームポンド、排水機場などを見学し、農業土木構造物の実際に触れ、専門教科の学習を深める機会としている。また、農業農村整備事業は、持続的な農業の発展と美しく活力ある農村の創出に効果をもたらすことを学習し、官公庁の果たす役割についても理解を深める機会となっている。



写真-2 現場見学会 排水機場内

(3) **資格取得** 環境緑地系列で取得が可能な資格は、次のとおりである。

- ・ビジネス文書実務検定
- ・危険物取扱者（乙種・丙種）
- ・測量士補
- ・2級土木施工管理技術検定
- ・特別教育講習

（高所作業車運転，小型車両系建設機械運転，玉掛け，小型移動式クレーン運転，小型フォークリフト運転，アーク溶接，刈払機安全衛生，小型ボイラー取扱）

(4) **農業クラブ** 第66回（平成27年度）日本学校農業クラブ全国大会群馬大会農業鑑定競技会 区分【農業土木】の部で，優秀賞に入賞するなど，全国大会や県大会での活躍が期待されている。



写真-3 農業クラブ 県平板測量競技会

(5) **授業内容** 総合実習では，測量実習，土木実験，作物の栽培管理，樹木の剪定，箱庭の制作などを行い，座学を補完する内容を行っている。また，昨年度厚生労働省若年技能者人材育成支援等事業として，ものづくりマイスター事業を活用した「石積み講習」を実施した。熟練技能者から指導を受けることで，より専門的・実務的な技術の習得が期待される。



写真-4 総合実習 石積み講習

昨年度の課題研究では，校内の第2駐車場を利用し，クロスカントリーコースの造成を行った。部活動での活用を目指し，全長500m，最大高低差2mを目標に計画を立てた。使用する土砂は，市内にある防災ダムの堆積砂利をもらい受け，バックホウやトラクタなどを操作しながらコースを造成した。これまで，約半分が完成しており，今後残りの造成を行う予定である。



写真-5 課題研究 クロスカントリーコースの造成

5. おわりに

前述したように本校の環境緑地系列は総合学科に属しているため，専門教科を2年生から学び始める。専門教科の時間数も限られており，広域的にカバーしにくい部分もある。測量士補や2級土木施工管理技術検定などの資格取得についても，合格率の向上が大きな課題である。また，生徒の進路希望も多様化しており，地元関連企業以外への就職も少なくない。地域から大きな期待を寄せられているものの，その期待に応えきれていない現状がある。このような状況の中で，生徒の学習意欲を高め，専門的知識や技術を習得させ，地域の関連産業への従事者を育成するために，どのような取組みや手立てが必要か模索しながらさまざまな検討を重ね，これからも「地域に愛され信頼される学校」作りを推進していきたい。

（鹿児島県立鶴翔高等学校 環境緑地系列
教諭 草尾辰徳）